

走り梅雨聞こえ加湿器仕舞い込み

．．． 西日本が例年より二、三週間早く梅雨入りしたとテレビが言うのを聞いて、気管支拡張症持ちの我は、湿度管理の切り替え時期と、加湿器を仕舞いこんだ。

切り株に白猫座る梅雨晴れ間

．．． 梅雨晴れ間の森林公園で、いつもは草の中に見かけていた白猫が、今日は小檜（コナラ）の伐採あとの切り株に座り、気持ちよさそうに見えた。

午後の森不意の初音やホトトギス

．．． 丘の林道を歩いている午後、少し離れた下手前方の森から、キヨ キヨ キヨと、切れの良い鳴き声が聞こえ、夏が来たと感じた。

立葵揺れて知らせる横断可

．．． 森林公園から車道へ出る手前で、タチアオイが巡査の交通整理のような格好で揺れて「横断可」と示す。車道に出たら案の定、左右に車は見えなかった。

夏用心ワクチン済んで密避けて

．．． コロナ感染拡大五派の中、二回目のワクチン接種を済ませた。自分への感染リスクは下がったが、人へ移すリスクはあり、「用心 用心！」の夏を過ごしている。

嗅ぎ寄れば山百合笑い犬止まる

．．． 散歩の人の綱の先を、犬が山裾の山百合に嗅ぎ寄り、しばらく鼻をつけるのを見て、山百合を見ると微笑み咲くように見えた。匂いと微笑みに引かれたか。

父と子や水かけごっこゴムプール

．．． 「プール遊び中」のメールで、妻と近所の長男宅訪問。水を張ったゴムプールは玄関前にあり、家に入っていた孫が、「パパと水かけごっこした」と自慢した。

孫五歳手の角誇る甲虫

．．． 流行らしく、孫が父親と甲虫を飼い増やしている。飼箱の卵や幼虫を見せる父親を見ながら、孫が大甲虫の角をつかんで、我ら訪問者に見せびらかす。

コロナ来てテレビピックアップ走馬灯

．．． コロナ緊急事態宣言が、五輪の自宅テレビ観戦推奨とセットで発令中。観戦中だが、次々変わる画面に驚いており、感動もどこかへ飛んでいる感じ。

敗戦日傘寿あごひげ半切りし

．．． 戦後七六年、新聞見出し「終戦とはまやかしのことばだ」を見て、敗戦を冷静に直視できる時期と思い、同感自覚の確認まで、傘寿のあご鬚を半分切ってみた。

母逝って三拾八年盆のあと

．．． 朝夕に先祖に線香を焚く日常を過ごしているが、彼岸と盆、そして命日には、これからも心での再会をして語り合っていこうと、改めて思う最近。

秋前に歯茎きたえる傘寿かな

．．． 歯科検査で、歯磨き効果か当面は定期そうじだけと出たが、以後は、かねて聞く口の健康法Ⅱ指での軽い毎日歯茎マッサージを始めることにした。自歯は二十三本。

以上